

平成28・29年度  
八尾市産業振興会議  
～ 活動報告 ～

平成30年3月

八尾市産業振興会議



## 目 次

1. これまでの経緯と平成28・29年度の検討内容 .....	1
1-1 これまでの検討経緯.....	1
1-2 平成28・29年度の検討内容 .....	2
2. 平成28・29年度における産業振興施策の実施 .....	5
2-1 主な産業振興施策の実施状況 .....	5
2-2 その他の産業振興施策の実施状況.....	6
3. 今後の産業振興に向けて .....	7
資料.....	8

# 1. これまでの経緯と平成28・29年度の検討内容

## 1-1 これまでの検討経緯

「八尾市産業振興会議」では、平成10年度に今後の産業振興の方向性や長期的な施策の枠組み等を提言して以来、「八尾市総合計画」に反映いただきたい産業振興に関する施策体系や、「八尾市中小企業地域経済振興基本条例」の早期制定、「ITを活用した八尾の産業振興方策」、「産業集積の維持発展に向けた具体的方策」等さまざまな施策提言を行ってきた。以下は、産業振興会議設置以降に八尾市で実施されてきた主な施策等である。

### 産業振興会議設置（平成10年度）以降の主な産業振興施策等

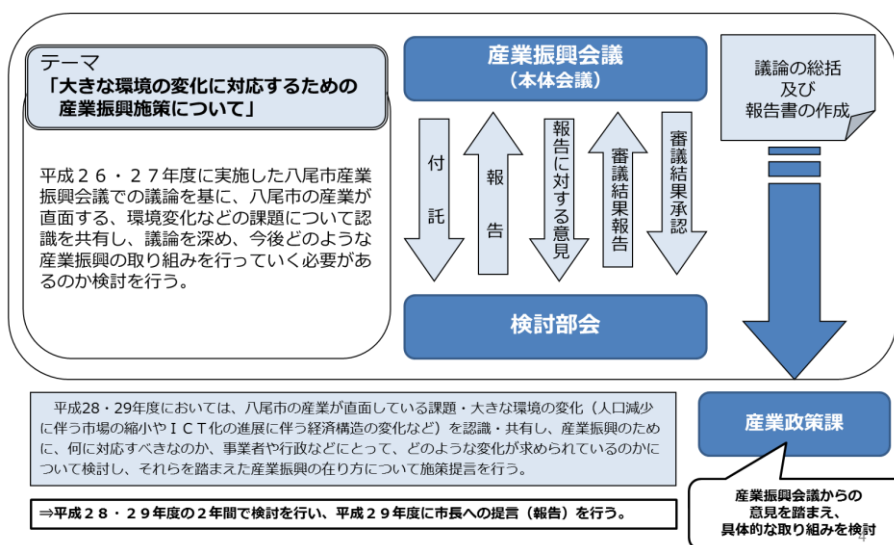
- 企業情報データベース化事業（八尾ものづくりネット）（11年度～）
- 八尾市中小企業地域経済振興基本条例制定（13年度～）
- 八尾市中小企業サポートセンター設置（14年度～）
- 八尾ものづくり受注商談会開催（14年度～21年度）
- ビジネスマッチング博開催（14年度～）
- 商業ネットワーク化支援事業（八尾あきんどOn-Do ネット）（14年度～）
- “ものづくりのまち・八尾”ブランド化推進事業（16年度～）
- アントレプレナーシップ教育事業（16年度～18年度）
- 地域再生計画「ものづくりのまち・八尾 担い手育成計画」（16年度～18年度）
- 異業種交流グループ等の研究・開発への助成制度の創設（16年度～26年度）
- 八尾市中小企業サポートセンター機能拡充・移設（18年度）
- 八尾市ものづくり集積促進奨励金制度（19年度～）
- 八尾市中小企業地域経済振興功績者顕彰制度の創設（19年度～）
- 産業政策アドバイザーの設置（20年度～）
- ものづくり人材育成事業（20年度～）
- 地域商業活性化アドバイザーの設置（21年度～）
- 提案公募型八尾市商業まちづくり推進事業の創設（21年度～27年度）
- 八尾市中小企業地域経済振興基本条例改正（23年度～）
- 「八尾産業情報ポータル」のサイト運用開始（24年度～）
- 大阪シティ信用金庫との産業連携（25年度～）
- ものづくりカレッジの開始（25年度～）
- 事業承継セミナーの開始（25年度～）
- 市内事業所人材確保支援（労働支援課、八尾市無料職業紹介所）の開始（25年度～）
- 八尾あきんど起業塾の開始（26年度～）
- 環山楼塾の開始（26年度～）
- 八尾市中小企業ブランド戦略推進事業「STADI」（27年度～）
- 八尾市製造業現場改善支援事業（27年度～28年度）
- 医療機器・介護機器分野参入促進事業（27年度～）
- 女性の職業生活における活躍推進事業（27年度～）
- ものづくり人材育成支援事業（29年度～）
- 八尾市IoTを活用したハードウェアイノベーション推進拠点デザイン事業（29年度～）

平成14年度から平成18年度までは、これまでに具体化された産業振興施策のより強力な推進や検証を行うという主旨のもと、「新たな施策提言」のみならず「既に具体化された産業振興施策の推進と具体的運営」にも重点を置き、市民及び次代を担う事業者から成る「推進部会」を設置し、具体的な施策推進と運営を行ってきた。平成19年度から平成20年度までは、「地域資源検討部会」を設置し、「産業振興の種」として十分活用されていない地域資源の実態把握及びそれらを活用したビジネスの展開可能性、地域産業活性化に向けた具体的方策の検討を行った。平成21年度には平成23年度から第5次総合計画がスタートすることに着目し、「総合計画策定部会」を設置し、産業政策の方向性や産業振興のあり方の検討、さらには平成20年度に実施した八尾市商業調査の課題・方向性を踏まえ具体的な商業振興施策の検討を行った。平成22年度には、条例制定後約10年が経過している「八尾市中小企業地域経済振興基本条例」について、社会経済情勢や本市中小企業をとりまく環境の変化等により、今後の産業政策の方向性等を新たに示す必要から、改正を視野に内容の検討を行った。平成23年度には、情報発信の重要性を改めて鑑みて、「情報発信部会」を設け、産業情報の発信の方向性や取組み等について検討を行った。平成24・25年度は人口減少社会の到来に備え、人口減少社会が産業分野にもたらす影響および課題を踏まえた上で産業集積の維持・発展を図っていくために、「産業集積検討部会」を設置し、「事業承継について」「事業者間等連携」をテーマにその対応策について2年間かけて検討を行った。平成26・27年度は、平成24年度「小売業・飲食業・サービス業の状況調査」及び平成25年度「八尾市製造業実態調査」の絶対値のデータからみえる課題について、「商業振興部会、工業振興部会」を設置し、求められている産業振興施策を検討した。

## 1-2 平成28・29年度の検討内容

平成28・29年度においては、「大きな環境の変化に対応するための産業振興施策」をテーマに「検討部会」を設置し、人口減少に伴う市場の縮小やICT化の進展に伴う経済構造の変化といった八尾市の産業が直面する外的要因などから現状の課題について認識を共有し、今後どのような産業振興の取り組みを行っていく必要があるのか、議論を行った。

## 平成28・29年度の 産業振興会議について



検討部会において、本市産業の「10年後のあるべき姿」について議論し、外的要因、内的要因の二つにわけ、解決すべき課題が何であるのかを抽出した。

見えてきた課題として、「後継者不足」、「経験の引継ぎができていない・正しいリーダーシップを発揮できる人材がいない」、「従来の販売・営業方法が通用しない」、「働き手の確保・八尾の価値の発見」等が挙げられた。まず「後継者不足」を解決するための方策として、「事業承継」について議論を行い、自社の評価（強み・弱み分析）について理解を深めるとともに、経営者の相談の場の提供や他の経営者との交流の機会の提供の必要性について議論を展開させた。

次に、「経験の引継ぎができていない・正しいリーダーシップを発揮できる人材がいない」課題については、「経営者育成」を視点を議論を行い、外部視点を入れる機会の提供、組織風土づくり、そして10年後を見据えられる人材である「イントレプレナー（社内企業家）」の育成の必要性が意見として多数あげられた。そして「従来の販売・営業方法が通用しない」という課題に関しては、ターゲットを明確にした自社の強みの発信が必要であり、「広報戦略」として、エンドユーザー情報の獲得やオープンファクトリーの重要性について議論が行われた。

最後に、「働き手の確保・八尾の価値の発見」については、身近に感じる人口減少・事業所減、そして人手不足という危機を回避するための課題解決方法として、「イノベーション創出の場づくり」があげられた。消費者やユーザーに出会うきっかけ、自分たちの製品やサービス、ひいては会社そのものの価値に触れてもらい、体感してもらうことがものづくりのイノベーションを推進するうえでも重要であるという議論が展開され、提言書としてまとめた。

テーマ  
「大きな環境の変化に対応するため  
の産業振興施策について」

平成28・29年度においては、八尾市の産業が直面している課題・大きな環境の変化（人口減少に伴う市場の縮小やICT化の進展に伴う経済構造の変化など）を認識・共有し、産業振興のために、何に対応すべきなのか、事業者や行政などによって、どのような変化が求められているのかについて検討し、それらを踏まえた産業振興の在り方について施策提言を行う。

危機	解決すべき課題	今後やっていくこと	提言
<b>外的要因</b> <ul style="list-style-type: none"> <li>消費行動の変化 【購入⇒リース、もの消費⇒こと消費】</li> <li>テクノロジーの進歩 (自動運転AI, フィンテック等)</li> <li>グローバル化(先進諸国の国内生産・雇用安定・社会保障の安定化へ)</li> <li>大規模災害</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>従来の販売方法、営業手法が通用しない</li> <li>技術力だけでは勝負できない</li> <li>ICT(情報通信技術)人材の不足</li> <li>先端技術に関する情報不足</li> <li>独自技術が必要</li> <li>海外進出が利益につながっていない</li> <li>グローバル化は危機ではあるが脅威ではない</li> <li>災害への対応が不十分</li> </ul>	<p>戦略的な商品開発や販売企画 (マーケティング・ブランドインガ) プラスアルファのサービス提案 (売り先に対する)ターゲットを明確にした自社の強みの発信 【過去のデータ分析から新たな営業手法をつくる】 【⇒経験値のデータ化】 【⇒経験値の取得】 エンドユーザー情報の取得 オープンファンアウトリー</p> <p>プラスアルファのサービス提案 【⇒経験値のデータ化】 先端技術情報を取り入れる、先端技術を開発する</p> <p>先端技術情報を取り入れる 国内でニッチな分野を極める</p> <p>【BCP策定】 働き方の見直し、インターンシップ受入ネットワーク内の流動的な人材紹介 企業イメージの向上(スポンサー、地域貢献) 働きやすい職場の認証制度の活用 【⇒くるみんマーク、安全衛生優良企業制度(厚生労働省)】 ロボット化の進展・内製化 ものづくり企業とIT・クリエイティブ企業の融合</p>	<p><b>[提言書]3章-4-(3)</b>  <b>■広報戦略</b>          ○情報を得られる場の提供          ○最先端の消費行動(エンドユーザーの情報を持っている人との連携機会の提供(取引))          ○価値提案能力の向上(技術の可視化)</p> <p><b>[提言書]4章-2-(4)</b>  <b>■インバウンド創出の場づくり</b>          ○新たな商品・技術開発のチャレンジの場の提供          ○「八尾」に行けば、何か生まれるといったイメージ戦略の策定</p> <p><b>[提言書]3章-2-(2)</b>  <b>■経営者育成</b>          ○外部視点を入れる機会の提供          ○組織風土づくり          ○10年先を見据えられる人材の育成</p> <p><b>[提言書]2章-4</b>  <b>■事業承継</b>          ○自社の評価(強み・弱み分析)          ○経営者の相談の場の提供          ○他の経営者等との交流の機会の提供</p>
<b>内的要因</b> <ul style="list-style-type: none"> <li>後継者不足</li> <li>危機感の欠如</li> <li>先行き不透明 事業計画が立てられない 投資ターゲットがわからない</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>経験の引継ぎができていない</li> <li>正しいリーダーシップを発揮できる人材がいらない</li> <li>そもそも継ぐ人がいない</li> <li>危機感の認識不足</li> <li>強み・弱みの分析が不足している</li> <li>投資ができていない (資金調達)の難化、内部留保の減少</li> </ul>	<p>人材育成(事業戦略の立てられる人材) (求職者に対する)ターゲットを明確にした自社の強みの発信</p> <p>【資産(機械・土地・家屋・従業員・技術)の正しい引継ぎ】</p> <p>自社の強み・弱み分析 (出資者に対する)ターゲットを明確にした自社の強みの発信 資金調達方法の多様化</p>	

## 2. 平成28・29年度における産業振興施策の実施

### 2-1 主な産業振興施策の実施状況

当会議からの意見を踏まえ実現された、主な産業振興施策の実施状況は以下のとおりである。

#### ① 八尾市事業承継支援事業「千年企業創造ラボ」

中小企業の円滑な事業承継をするために、八尾商工会議所などの支援機関の体制強化をはかり、必要となる支援や情報等を提供。調査結果やヒアリングにより課題を抽出したうえで、中小企業に事業存続するための課題認識を持てる機会となるワークショップを実施。

#### ② 次世代経営者養成講座「環山楼塾」

市内の中小企業において、次世代の経営者が経営力を高め持続可能な永続企業へ進化・発展を遂げるために、若手経営者や事業後継予定者が机を並べて切磋琢磨し、「経営力」を養うための場を構築。将来の八尾の産業を支える経営者たちが商工業の垣根を超えて「経営力」を養うことで地域経済の発展を図るため、八尾市と八尾商工会議所と共催で次世代経営者養成講座「環山楼塾」を実施。

#### ③ 八尾ものづくりカレッジ

中小企業の経営者に対して、人材育成にかかる情報提供、公的支援制度の紹介を行うとともに、企業、大学、支援機関等が集まる機会を設け、産学連携及び異業種間交流を促進し、企業が抱える経営や技術に関する様々な課題について共に学びあう場となる企業向けセミナーを実施。

#### ④ 八尾市 IoT を活用したハードウェアイノベーション推進拠点デザイン事業

AI、IoT、ビッグデータの利活用を促す仕組みを整備することで市内企業の発展や専門人材の育成を行うとともに、クリエイティブなモノを体験できる展示・体感スペースを設置することにより、利用する子ども・若者・地域住民がものづくりを身近に体験し、クリエイティブな子どもの育成のみならず、将来の地域産業の担い手を育成する。同拠点の整備に関するデザイン業務を実施。



## 2-2 その他の産業振興施策の実施状況

平成28年度は八尾市で以下のような施策等が実施された。(各施策等の詳細は資料編を参照)

### (1) ものづくり関連施策

- ものづくり集積促進奨励金(資料1)
- 中小企業サポートセンター事業(資料2)
- 「ものづくりのまち・八尾」ブランド化推進事業(資料3)
- ビジネスチャンス発掘フェア(資料4)
- 八尾ものづくりカレッジ(資料5)
- 八尾市製造業現場改善支援事業(資料6)
- ものづくり人材育成支援事業(資料7)
- 医療機器・介護機器分野参入支援事業(資料8)
- 八尾市中小企業ブランド戦略推進事業(資料9)

### (2) 商業関連施策

- 商業ネットワーク化支援事業(資料10)
- 地域商業活性化事業補助金(資料11)
- 八尾商業まつり・商店街等にぎわい創出事業(資料12)
- 創業支援事業(あきんど起業塾)(資料13)

### (3) その他施策

- 産業情報発信事業(資料14)
- 融資制度事業(資料15)
- 意欲ある事業者経営・技術支援補助事業(資料16)
- 次世代経営者養成講座「環山楼塾」(資料17)
- 市内事業所人材確保支援(資料18)
- 女性の職業生活における活躍推進事業(資料19)

### 3. 今後の産業振興に向けて

既述してきたとおり、今年度もこれまでの経緯、成果を踏まえ産業振興施策を検討・実施してきた。ついては、以下項目ごとに今後の産業振興の方向性を提示する。

#### ■産業振興施策全般について

「八尾市中小企業地域経済振興基本条例」の理念や基本的施策及び総合計画における産業政策の方向性等を踏まえ、産業振興会議における検討内容がより充実した施策へと昇華され、地域産業の栄えるにぎわいのあるまちづくりを実現する施策の推進を適宜実施されたい。

また、八尾市版総合戦略（市町村まち・ひと・しごと創生総合戦略）の産業振興分野の策定においては、当該会議での提言内容との調整を図るものとされたい。

#### ■産業振興施策の検討・実施体制について

見えてきた課題に対応し、中小企業地域経済振興基本条例及び総合計画に基づく施策を推進していくためには、他分野も含め広く産業に関わる機関との連携・協働が必要であるとともに、地域との相互理解や地域の担い手としての役割が求められていることに触れ、「各地域がそれぞれの特徴を活かした自律的で持続的な社会の創生」を掲げる政府の地方創生の大きな流れにのって地域経済活性化を進める政策の実現を期待し、本報告書の締め括りとした。

## 資料

### 平成 28・29 年度「八尾市産業振興会議」委員名簿

氏名	所属団体等	備考
乾 真治	八尾商工会議所（ラピス株式会社 代表取締役社長）	
今井 重一	公募委員	
樫本 佳子	八尾市消費問題研究会環境部会長	
勝浦 宏祐	北本町中央通商店会 会長（香留壇 代表者）	
加藤 志津子	公募委員	
川江 正美	公募委員	
進藤 由之	大阪府商工労働部商工労働総務課企画グループ課長補佐	
高橋 慎二	大阪経済法科大学（経済学部教授）	
滝本 優枝	近畿大学経営学部商学科 准教授	副座長
田口 一江	近畿経済産業局 地域経済部地域開発室長	平成 29 年 6 月 8 日～
寺西 幸雄	安中市場商業協同組合 理事長（株式会社寺西 代表取締役）	
長尾 昭子	八尾市女性団体連合会 食生活部会長	
藤原 義春	大阪府中小企業家同友会八尾支部 理事 （株式会社藤原電子工業 代表取締役）	
文能 照之	学識経験者（近畿大学経営学部教授）	座長
細川 洋一	近畿経済産業局総務企画部企画課長	～平成 29 年 4 月 30 日
村本 順三	さくら精機株式会社取締役会長	
森嶋 勲	公募委員	
山口 昇	株式会社そごう・西武 西武八尾店 総務部長	～平成 28 年 9 月 9 日
山田 裕也	公募委員	
山本 俊史	大阪シティ信用金庫企業支援部 副部長	

平成 28・29 年度「八尾市産業振興会議 検討部会」委員名簿

氏名	所属団体等	備考
乾 真治	八尾商工会議所（ラピス株式会社 代表取締役社長）	
今井 重一	公募委員	
勝浦 宏祐	北本町中央通商店会 会長（香留壇 代表者）	
加藤 志津子	公募委員	
川江 正美	公募委員	
高橋 慎二	大阪経済法科大学（経済学部教授）	
滝本 優枝	近畿大学経営学部商学科 准教授	副座長
寺西 幸雄	安中市場商業協同組合 理事長（株式会社寺西 代表取締役）	
藤原 義春	大阪府中小企業家同友会八尾支部 理事 （株式会社藤原電子工業 代表取締役）	
文能 照之	学識経験者（近畿大学経営学部教授）	座長
村本 順三	さくら精機株式会社取締役会長	
森嶋 勲	公募委員	
山田 裕也	公募委員	

## 平成 28 年度「八尾市産業振興会議」審議経過

### 第 1 回八尾市産業振興会議

日 時：平成 28 年 7 月 27 日（水） 14:00～16:00

場 所：八尾商工会議所会館 3 階 中会議室

議 事：（1）委嘱式

（2）産業振興会議の仕組みと本年度の進め方について

（3）国の産業振興に向けた課題と取り組みについて

（4）大阪府の産業振興に向けた課題と取り組みについて

（5）八尾市の産業振興に向けた課題と取り組みについて

### 第 2 回八尾市産業振興会議

日 時：平成 28 年 9 月 30 日（金） 13:30～15:30

場 所：八尾商工会議所会館 3 階 大ホール

議 事：（1）大きな環境の変化に対応するための産業振興施策について

（2）現状把握

（3）解決すべき課題の発見

（4）部会検討事項の選定

### 第 3 回八尾市産業振興会議

日 時：平成 29 年 1 月 20 日（金） 13:45～15:45

場 所：八尾商工会議所会館 3 階 大ホール

議 事：検討部会からの報告について

## 平成 28 年度「八尾市産業振興会議 検討部会」審議経過

### 第 1 回産業振興会議検討部会

日 時：平成 28 年 10 月 25 日（火） 19:00～21:00

場 所：八尾市立中小企業サポートセンター 3 階 多目的室

議 事：5 年先の八尾のあるべき姿について

## 第2回産業振興会議検討部会

日 時：平成28年11月28日（月） 19:00～21:00  
場 所：八尾市立中小企業サポートセンター 3階 多目的室  
議 事：「今後の産業振興に向けて」解決すべき課題が何であるのか

## 平成29年度「八尾市産業振興会議」審議経過

### 第1回八尾市産業振興会議

日 時：平成29年6月28日（水） 15:00～17:00  
場 所：八尾商工会議所会館 3階 大ホール  
議 事：検討部会からの報告について

### 第2回八尾市産業振興会議

日 時：平成29年11月20日（月）  
場 所：八尾商工会議所会館 3階 大ホール  
議 事：平成28・29年度 産業振興に関する提言書について

## 平成29年度「八尾市産業振興会議 検討部会」審議経過

### 第1回産業振興会議検討部会

日 時：平成29年4月11日（火） 19:00～21:00  
場 所：八尾市立中小企業サポートセンター 3階 多目的室  
議 事：（1）平成29年度検討部会に向けて（別紙資料のとおり）  
（2）10年後の八尾の産業のビジョンについて

### 第2回産業振興会議検討部会

日 時：平成29年5月16日（火） 19:00～21:00  
場 所：八尾市立中小企業サポートセンター 3階 多目的室  
議 事：（1）10年後の八尾の産業のビジョンについて  
（2）八尾にある価値は何か、それを10年後にどう生かすか

### 第3回産業振興会議検討部会

日 時：平成29年7月19日（水） 19:00～21:00

場 所：八尾市立中小企業サポートセンター 3階 多目的室

議 事：八尾の価値をどのように提案していくのか

### 第4回産業振興会議検討部会

日 時：平成29年8月18日（金） 19:00～21:00

場 所：八尾市立中小企業サポートセンター 3階 多目的室

議 事：（1）IT、IoTの利活用の可能性について

（2）提言書に向けての方向性について